

令和3年度

第1回江別市緑化推進審議会

日時 令和3年8月5日(木)
午後1時00分～
場所 江別市民会館37号室

次 第

【委嘱状交付】

あいさつ 江別市長 三好 昇

【緑化推進審議会】

1 開 会

2 委員等紹介

- (1) 委員自己紹介
- (2) 事務局紹介

3 正副会長の互選および会長職務代理者の選任

4 現地視察

- ・ 指定樹木候補 8本
- ・ 保存樹木指定解除検討 2本

5 議事

(1) 審議事項

議案第1号 江別市指定樹木の選定について

議案第2号 江別市保存樹木指定解除の検討について

(2) その他

6 閉 会

【配付資料】

- 資料1 指定樹木選定・保存樹木指定解除検討視察一覧・・・・・・・・・・1 ページ
- 資料2 江別市指定樹木の新規選定について・・・・・・・・・・2～9 ページ
- 資料3 江別市保存樹木指定解除の検討について・・・・・・・・・・10～11 ページ
- 資料4 江別市指定樹木の選定事業実施要領・・・・・・・・・・12 ページ

■江別市緑化推進審議会委員名簿（第13期）

令和3年8月1日現在

□委員の任期：令和3年8月1日～令和6年7月31日（3年間）

（区分ごとの50音順）

区分	氏名	所属団体等	備考
学識経験者	おおはら まさし 大原 雅	北海道大学大学院 地球環境科学研究院 教授	新任
	ごう さとし 郷 敏	野幌森林愛護組合	再任
	こさか しんいち 小坂 進一	酪農学園大学 名誉教授	再任
	みや しゅんすけ 宮 俊輔	国立研究開発法人森林研究 ・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場	再任
市長が必要と 認める者 (関係団体等)	かわむら すみこ 河村 純子	江別市女性団体協議会	再任
	きくち いくみ 菊地 郁美	(一社)江別青年会議所	新任
	さか がひろこ 佐賀 弘子	江別市赤十字奉仕団	新任
	たはら ひさお 田原 壽夫	江別市自治会連絡協議会	新任
市長が必要と 認める者 (市民公募)	いしざわ まき 石澤 真希		新任
	ふじ しょういち 藤岡 章一		新任
	計10人		

□委員定数：10人



指定樹木選定・保存樹木指定解除検討 視察一覧

資料1

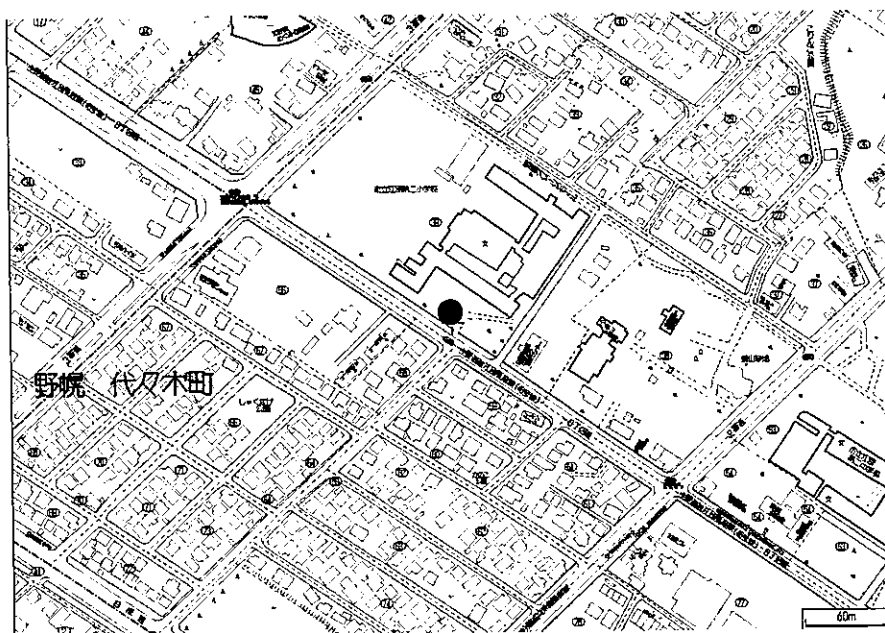
調査年月日 令和2年11月30日
調査者 緑化専門員 倉下 勝彦

NO	樹木名	所有者	所在情報	調査年月	樹高	直径	クローネ幅	推定樹齢	選定理由等
指定候補1 資料2-1	トドマツ	江別市教育委員会 (教育部総務課)	第二小学校 (野幌代々木町39)	指定年月日: R2.11.30	18	61	10 * 10	90	1886年開校の第二小学校に植栽された樹形が整った郷土樹種。
指定候補2 資料2-2	イタヤカエデ	学校法人酪農学園	酪農学園大学 (文京台緑町569-44)	指定年月日: R2.11.30	20	75	19 * 10	130	野幌原始林の面影を伝える野外礼拝堂の緑地に残された貴重な天然木。
指定候補3 資料2-3	ウダイカンバ	"	"	指定年月日: R2.11.30	24	68	18 * 16	120	野幌原始林の面影を伝える野外礼拝堂の緑地に残された貴重な天然木。
指定候補4 資料2-4	エゾノコリンゴ	北海道 (道立教育研究所)	北海道立教育研究所 (文京台東町42)	指定年月日: R2.11.30	6	28,21,20,20,168	12 * 9	50	道立教育研究所の外構で植栽された樹木で、6本株立ちのふくよかな枝張りにたくさんの花を付ける。
指定候補5 資料2-5	ヤマモミジ	個人所有 ()	庭の花 (東野幌)	指定年月日: R2.11.30	15	75	14 * 12	140	北越植民社の野幌開拓を見つめてきた古木で、樹形も良く秋には燃えるような紅葉が見事な木。
指定候補6 資料2-6	トチノキ	江別市 (都市建設課)	千古園 (東野幌375-1)	指定年月日: R2.11.30	19	72	21 * 11	90	二本立ちの枝ぶりのよい大木で、夏は枝一杯に大きな葉を茂らせ訪れる人に木陰を提供してくれる。
指定候補7 資料2-7	ミズナラ	"	"	指定年月日: R2.11.30	23	104	29 * 14	150	2本株の癒合木で、野幌が原始の森のころから生えていたと思われる古木郷土樹種。
指定候補8 資料2-8	カラマツ	"	"	指定年月日: R2.11.30	19	65	10 * 9	110	明治のカラマツ造林期に植栽されたと思われる、生育状況良好な木で、秋の黄葉も美しい。
指定No.5 資料3-1	キタコブシ ※解除検討	江別市 (都市建設課)	千古園 (東野幌375-1)	保存年月日: 平成13年2月5日 R02.8.25	16	102	16 * 10	196	同種では、市内で最も古木かつ大木である。 ※樹体腐朽が進み危険なら伐採したいとの申出
指定No.41 資料3-2	ヤマモミジ ※解除検討	"	"	保存年月日: 平成18年3月8日 R02.8.26	18	68	12 * 12	136	開拓当時の樹木がそのまま残されている貴重な巨木である。 ※3-4本の癒合木でR3.6.4の強風で主幹1本が折損倒木し、残存主幹も腐朽痕があるため、危険なら伐採したいとの申出。
				現況	21	59	14 * 12		



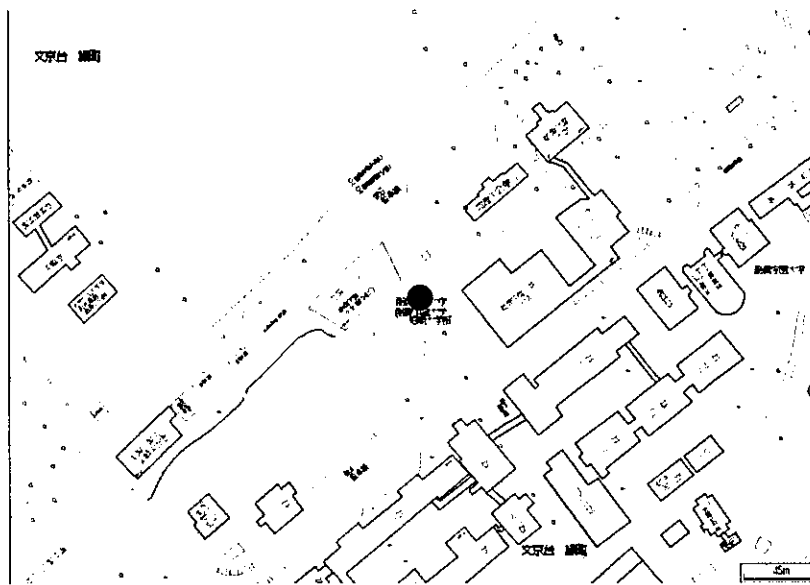
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	トドマツ
場所	第二小学校（野幌代々木町 39）
直径	61 cm（胸高周 193 cm）
樹高	18m（推定樹齢 90 年程度）
所有者	江別市教育委員会（教育部総務課）
選定理由	1886 年開校の第二小学校に植栽された樹形が整った郷土樹種。



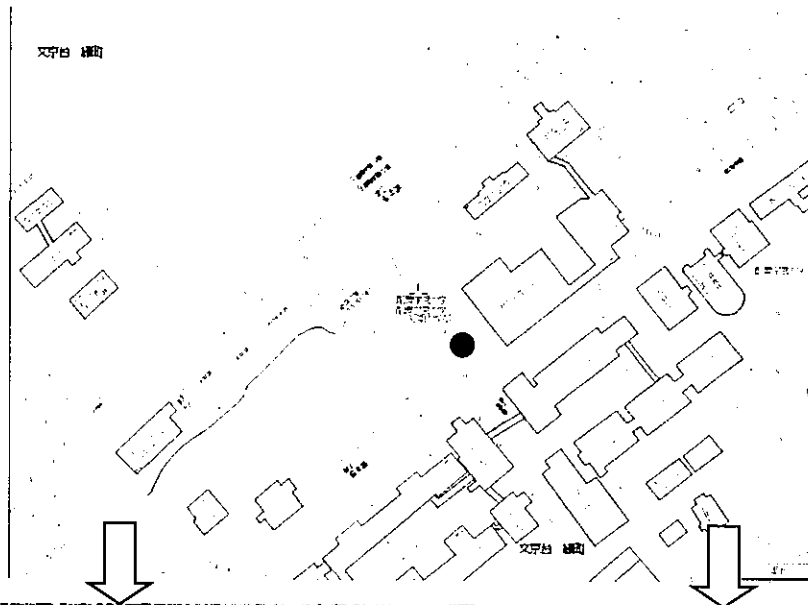
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	イタヤカエデ (エゾイタヤ)
場所	酪農学園大学 (文京台緑町 569-44)
直径	75 cm (胸高周 237 cm)
樹高	20m (推定樹齢 130 年程度)
所有者	学校法人酪農学園
選定理由	野幌原始林の面影を伝える野外礼拝堂の緑地に残された貴重な天然木。



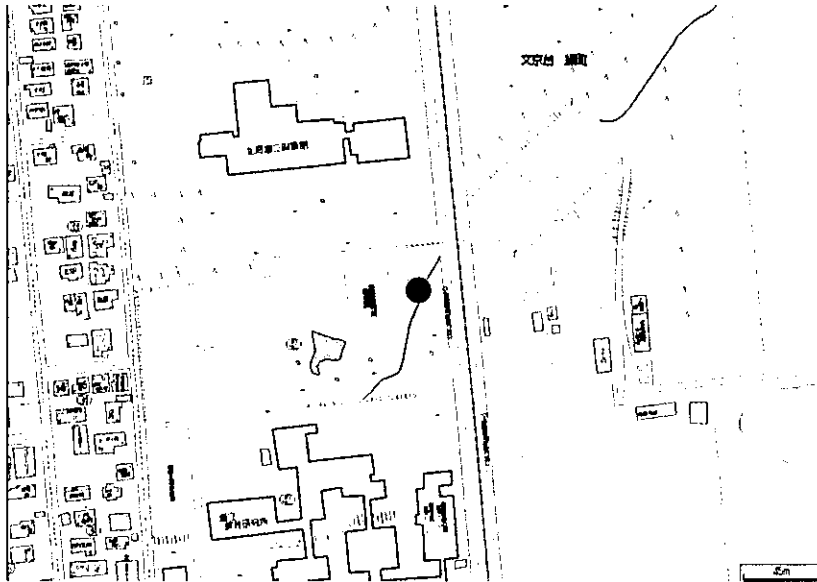
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	ウダイカンバ
場所	酪農学園大学（文京台緑町 569-44）
直径	68 cm（胸高周 215 cm）
樹高	24m（推定樹齢 120 年程度）
所有者	学校法人酪農学園
選定理由	野幌原始林の面影を伝える野外礼拝堂の緑地に残された貴重な天然木。



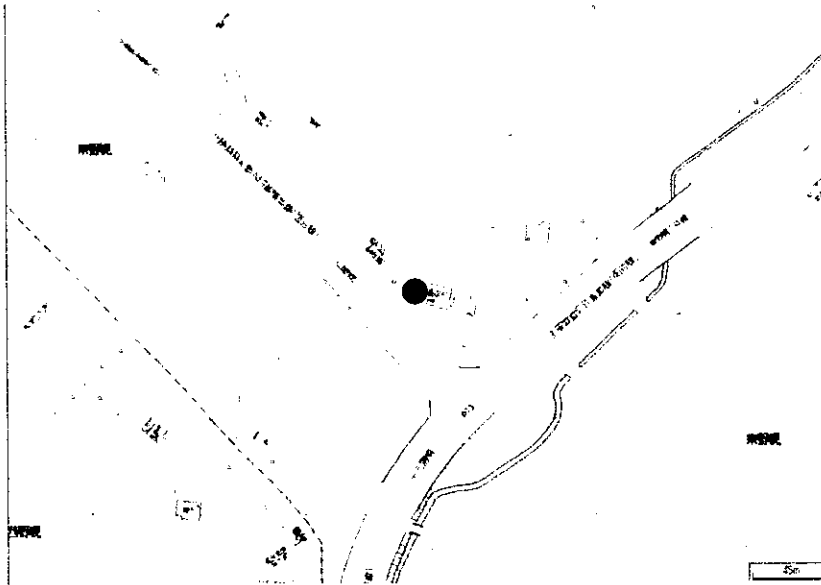
江別市指定樹木の新規選定について

樹 種	エゾノコリンゴ
場 所	北海道立教育研究所（文京台東町 42）
直 径	28、24、20、20、18、8 cm 6 本株立ち（最大株胸高周 91 cm）
樹 高	6m （推定樹齢 50 年程度）
所 有 者	北海道（北海道立教育研究所）
選定理由	道立教育研究所の外構で植栽された樹木で、6 本株立ちのふくよかな枝張りにたくさんの花を付ける。



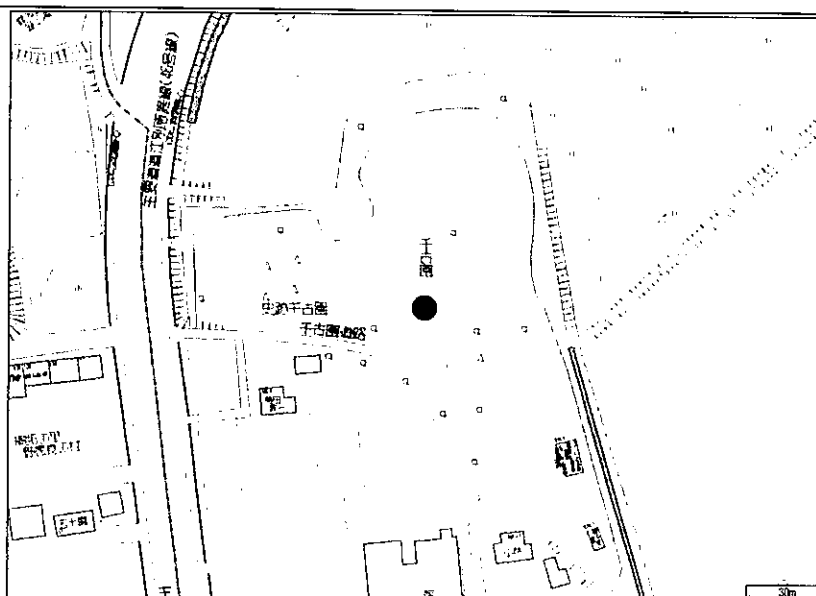
江別市指定樹木の新規選定について

樹 種	ヤマモミジ
場 所	庭の花 (東野幌 [REDACTED])
直 径	75 c m (胸高周 236 c m)
樹 高	15m (推定樹齢 140 年程度)
所 有 者	個人 ([REDACTED])
選定理由	北越植民社の野幌開拓を見つめてきた古木で、樹形も良く秋には燃えるような紅葉が見事な木。



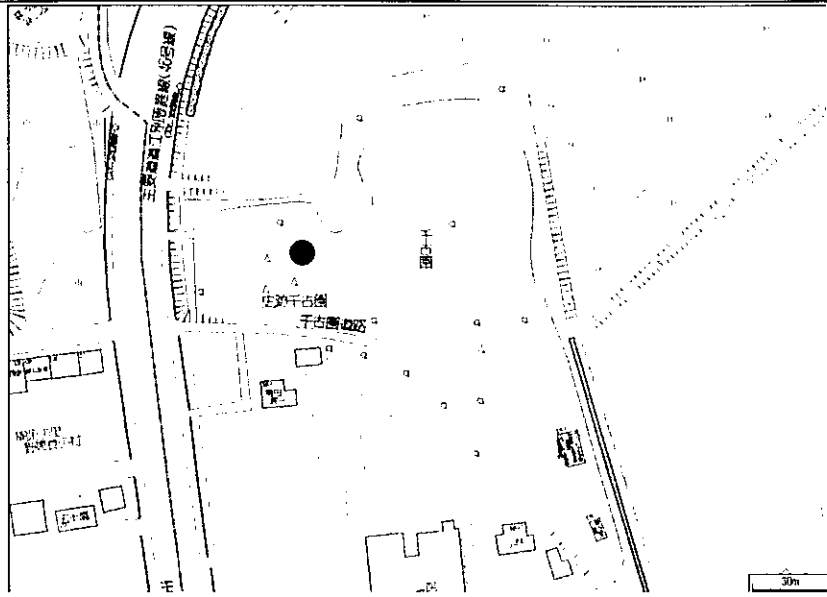
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	トチノキ
場所	千古園（東野幌 375-1）
直径	72 cm（胸高周 227 cm）
樹高	19m（推定樹齢 90 年程度）
所有者	江別市（建設部都市建設課）
選定理由	二本立ちの枝ぶりの良い大木で、夏は枝一杯に大きな葉を茂らせ、訪れる人に木陰を提供してくれる。



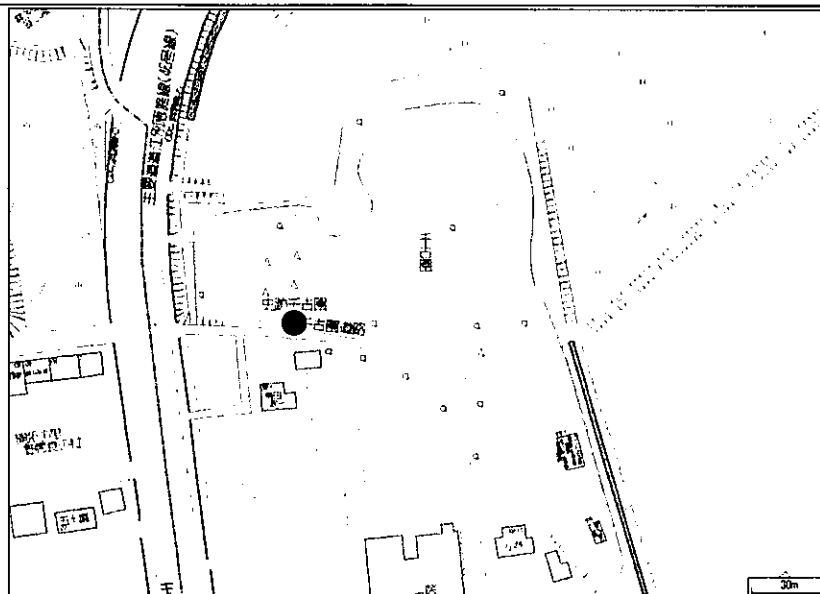
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	ミズナラ
場所	千古園（東野幌 375-1）
直径	104 c m （胸高周 327 c m）
樹高	23m （推定樹齢 150 年程度）
所有者	江別市（建設部都市建設課）
選定理由	2本株の癒合木で、野幌が原始の森のころから生えていたと思われる古木郷土樹種。



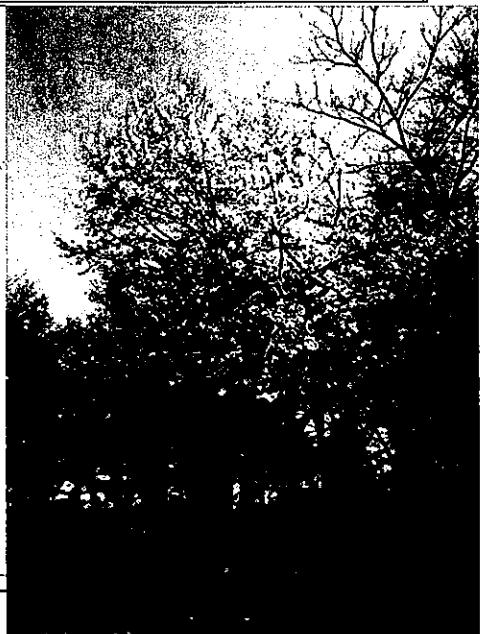
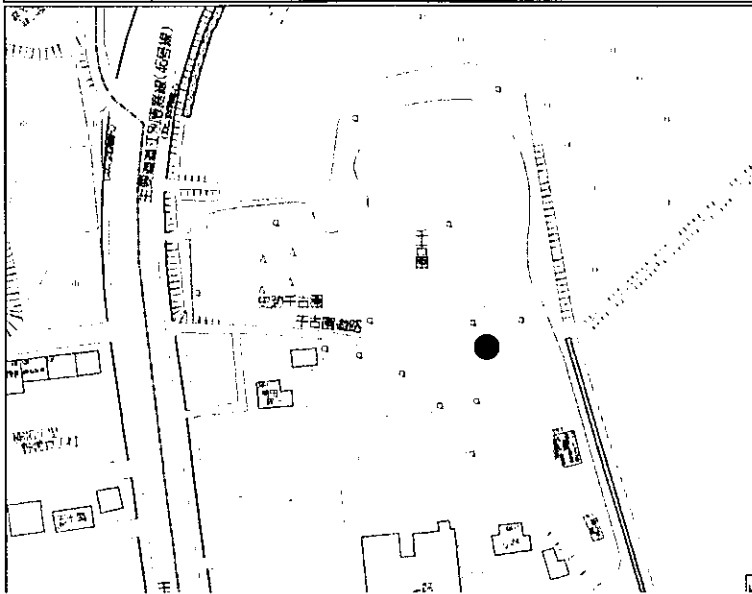
江別市指定樹木の新規選定について

樹種	カラマツ
場所	千古園（東野幌 375-1）
直径	65 c m （胸高周 207 c m）
樹高	19m （推定樹齢 110 年程度）
所有者	江別市（建設部都市建設課）
選定理由	明治のカラマツ造林期に植栽されたと思われる生育状況良好な木で、秋の黄葉も美しい。



江別市保存樹木の指定解除の検討について

指定番号	No.5 (平成 13 年 2 月 5 日保存)	樹 種	キタコブシ
所 有 者	江別市 (建設部都市建設課)	場 所	千古園 (東野幌 375-1)
直 径	102 c m (胸高周 320 c m)	樹 高	16m (推定樹齢 196 年程度)
指定理由	同種では、市内で最も古木かつ大木である。		
状 況	主幹の樹体腐朽・空洞化が進んでおり、所有者である都市建設課 (公園係) 担当者より、現状が危険な状態であれば指定解除のうえ伐採したいので検討願う旨の要望があった。		

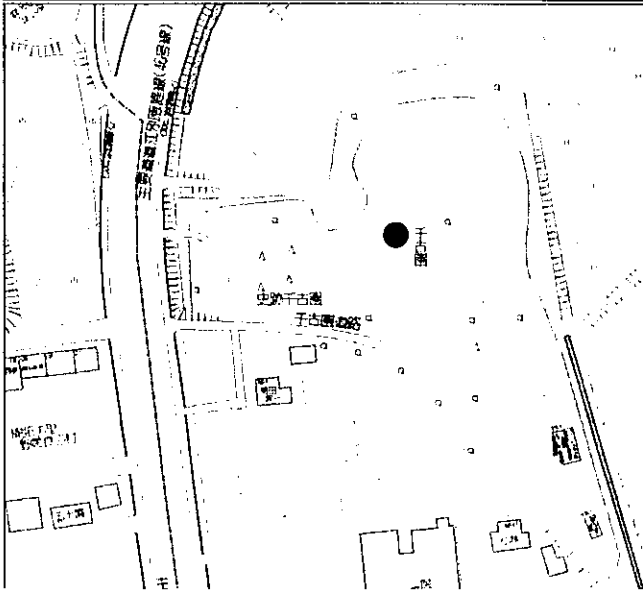


現況写真



江別市保存樹木の指定解除の検討について

指定番号	No.41 (平成 18 年 3 月 8 日保存)	樹 種	ヤマモミジ
所 有 者	江別市 (建設部都市建設課)	場 所	千古園 (東野幌 375-1)
直 径	68 c m (胸高周 213 c m)	樹 高	21m (推定樹齢 136 年程度)
指定理由	開拓当時の樹木がそのまま残されている貴重な巨木である。		
状 況	3~4 本の癒合木で R3.6.4 の強風で主幹 1 本が折損倒木し、残存主幹も腐朽痕があるため、所有者である都市建設課 (公園係) 担当者より、現状が危険な状態であれば指定解除のうえ伐採したいので検討願う旨の要望があった。		



現況写真



「江別市指定樹木」の選定事業実施要領

第1 趣 旨

緑豊かな街づくりと、緑を大切にする市民意識の一層の高揚を図るため、市民参加による「江別市指定樹木（以下「指定樹木」という。）を選定する。

なお、指定樹木として10年を経過した後、江別市緑化推進条例（第6条）に該当する場合は、別途「江別市保存樹木」として指定する。

第2 選定要領

- 1 対象とする樹木は、別に定める「指定樹木選定基準」による。
- 2 指定樹木は、選定基準に基づいて、江別市緑化推進審議会の意見を聞いて選定する。
- 3 指定樹木は、選定基準の樹種区分により分けて行う。
- 4 指定樹木に選定した場合は、認定証（表示板ふくむ。）を交付するとともに、そのことを市民に周知する。

第3 「指定樹木」選定基準

1 樹 種

- (1) 広葉・高木・・・・・・・・概ね、胸高直径が70cm以上、または樹高が10m以上のものを原則とするが弾力的な基準とする。
- (2) 針葉・高木・・・・・・・・同上
- (3) 希 少 木・・・・・・・・樹種を問わない。

①市内で珍しいもの	②樹形が特殊なもの
③由緒、由来のあるもの等	
- (4) 市の木ナナカマド・・・・・・・・樹容の優れているもので、種類を問わない。

2 条 件

- (1) 各樹木とも、単独（独立）木であり、露地植栽であること。
- (2) 高木で現在地以外から移植した場合は、定植後50年以上経過していること。
- (3) 希少木は、現在地で10年以上経過していること。
- (4) 道立自然公園内の樹木でないこと。

3 指定期間

10年間とする。但し、期間内の解除については、理由を記して届出するものとする。

4 指定区分

公共土地内の「公共樹木」と、市民・企業等の土地内の「一般樹木」に区分して指定する。

第4 削除

第5 削除

第6 その他

- 1 指定後は、良好な管理を条件に管理謝礼を指定樹木1本につき2,500円を年額として支払う。
- 2 指定期間内に解除した場合、所有者に変更があった場合、何らかの理由で、樹高・樹形に著しい変化が生じた場合は、所有者からの連絡に基づき指定の解除、指定内容の変更などを検討する。